

**いきいき ～健康でいきいきつながり合う笑顔のまち～**

**新型コロナワクチン接種を円滑に実施**

**こ**……1億9471万円 (医療介護連携室)

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を円滑に行うため、接種実施医療機関などの確保やワクチン接種の相談受付などを行うコールセンターを設置します。



**保育所などの感染症対策を支援**

**こ**……2000万円 (子育て支援課)

保育所などの新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を支援します。

**子ども家庭総合支援拠点を設置**

**新**…706万円 (子育て支援課)

市保健センター内に子ども家庭総合支援拠点を設置します。子育てに関する不安や悩み、不登校や家庭内暴力などの相談を受け、必要な支援機関につなぐ、情報提供を行います。



**子ども医療費の助成で子育て環境を整備**

**ふ**……1億2827万円 (子育て支援課)

未就学児や小・中学生の医療費助成を継続し、子育て環境の充実を図ります。

入院、外来の自己負担は、未就学児が350円、小・中学生が800円。薬代の自己負担はありません。

**宮崎大学医学部と災害救急医療で連携**

**Pick Up!**

**新**……2500万円 (医療介護連携室)

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、西諸二次医療圏の災害拠点病院である小林市立病院の機能強化を図るとともに、県内の災害拠点病院との相互支援・連携体制の構築に向けた調査研究に取り組みます。

**PickUP**

**常勤医師を確保することで小林市立病院の救急医療体制を強化**

3月29日、市と宮崎大学は、南海トラフ地震などの大規模災害に備えて「災害医療・救急医療支援講座」設置に関する協定を締結しました。

同講座は、市からの寄付金を原資として開設。県内の災害拠点病院が相互に支援できる取り組みの研究や、「災害・救急医療」「地域医療」に関する学生

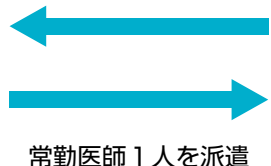
の教育を進めるなど、西諸の地域医療の充実に取り組むことを目的として設置されます。

また、所属する教員2人のうち1人が常勤医師として小林市立病院に派遣されることで、西諸地域の災害拠点病院である小林市立病院の救急医療体制の充実につながります。

寄付を原資に講座開設  
(災害医療・救急医療支援講座)



宮崎大学



小林市



小林市立病院



**令和3年度 予算の紹介**

**分野別**

- 市民の「元気」と「笑顔」の創出を目指して -

令和3年度の予算が成立しました。今年度は「ウィズコロナ・ポストコロナへの対応」、「健幸のまちづくりの推進」、「地方創生の推進」の3つの重点施策として編成しました。

「市民の元気と笑顔創出」を目指す予算の概要と主な事業を、5つの分野に分けて紹介します。

**令和3年度予算の3つの柱**

**ウィズコロナ  
ポストコロナへの対応**

新型コロナウイルス感染症の社会への影響を的確に捉え、市民生活や地域経済を積極的に支援します。

ポストコロナを見据えた取り組みを行い、持続可能なまちづくりを推進します。

**健幸のまちづくりの  
推進**

誰もが元気で健康な人生を送り、活力ある地域社会を維持するため、自然と健康になれるまちづくりに取り組みます。

個人や地域、企業の健康づくりを支援し、市民総ぐるみの「健幸のまちづくり」を推進します。

**地方創生の推進**

ブランド力を高めてその魅力を発信していきます。

移住・定住や関係人口を増加させることで、人口減少の緩和や地場産品の流通量拡大を推進。外貨獲得による地域経済の活性化を図ります。



## にぎわい ～人も心もワクワクにぎわうまち～

### 新たな価値観に対応した企業誘致を推進

……983 万円 (商工観光課)

新型コロナウイルス感染症の影響により、高まる地方への関心や働き方の多様化など新たな価値観に対応した企業誘致に取り組みます。

地方進出を検討している企業向けの視察ツアーの実施、市内にサテライトオフィスなどを設置する市外事業者の支援、ワーケーション受け入れのための無線 LAN 環境などを整備する市内事業者の支援を行います。



### 全国和牛ハイスクールサミットを開催

ふ ……783 万円 (畜産課)



全国和牛ハイスクールサミットを開催し、参加する高校生の畜産や地元に対する誇りの醸成、畜産の担い手としての意欲の向上を図り、本市の畜産のPRに取り組みます。

## くらし ～豊かな自然と共に安心してくらするまち～

### 交通の円滑化・事故防止のため道路を整備

……5 億 4008 万円 (建設課)

道路交通の円滑化および交通事故の防止を図るため、市内の主要なアクセス道路から幹線道路網への連絡道を充実させるとともに、災害時における迂回路の整備を行います。

### 次世代の農業の担い手を確保

……2009 万円 (農業振興課)

市の基幹産業である農業の次世代の担い手を確保するため、農業後継者や新規就農者の早期経営安定を支援します。



本市の農業は、後継者の減少、特に若い担い手の不足による高齢化が進んでいます。後継者・担い手の確保は、地域農業振興の喫緊の課題になっています。

### プレミアム付商品券で地域経済を下支え

コ ……1 億 600 万円 (商工観光課)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、地域経済の低迷が続いています。

市内での消費を喚起し、地域経済を回復させるため、市内の取扱加盟店で利用できるプレミアム付商品券の発行に必要な経費を補助します。

### 消防詰所改築・消火栓設置で消防力を維持

……2816 万円 (危機管理課)

老朽化した消防詰所を改築し、消防水利の不足する箇所に消火栓を設置することにより、火災などの非常時における消防力を維持し、市民の生命・財産の保護を図ります。

### ふるさと納税などで特産品の流通を促進

……5 億 1766 万円 (地方創生課)

ふるさと納税寄付金の増加と地場産品の流通量の増加を図るため、ブランド力の向上、返礼品の新規開拓・開発に取り組みます。

また、クラウドファンディング型ふるさと納税で寄付を募り、地域課題解決につながる事業を行う起業家や地域活性化を目指す取り組みを行う団体などを支援します。

Pick Up!



### PickUP

#### 令和2年ふるさと納税寄付受付額

**6 億 8056 万円**

ふるさと納税で集められた寄付は、子育て支援や教育など、市の施策の推進に充てられます。

また、地域の魅力発信や地域経済の活性化などにも活用されます。

#### 市公認通販サイトがオープン!

小林の地場産品を扱う市公認通販サイト「ンダモシタンマルシェ」が、昨年6月にオープン。

地場産品の販路拡大と地域ブランドの認知度向上を促進し、地域経済の振興を図ることを目的としています。



## まなび ～生涯を通して学び合い育ち合うまち～

### 給食費の半額補助で子育て世代を支援

ふ ……6948 万円 (スポーツ振興課)

子育て世代の負担を軽減するため、小中学校の学校給食費の半額を補助します。

### 学習活動の充実を目指して ICT 環境を整備

コ ……5654 万円 (学校教育課)

コロナ禍での教育環境の維持確保と今後のスマート社会を想定し、タブレット型パソコンを活用した ICT 教育の推進を図り、モデル校での効果的なオンライン学習の検証・研究などに取り組みます。



市内の小中学校ではタブレット型パソコンを1人1台整備。授業で活用し、ICT 教育を推進します。

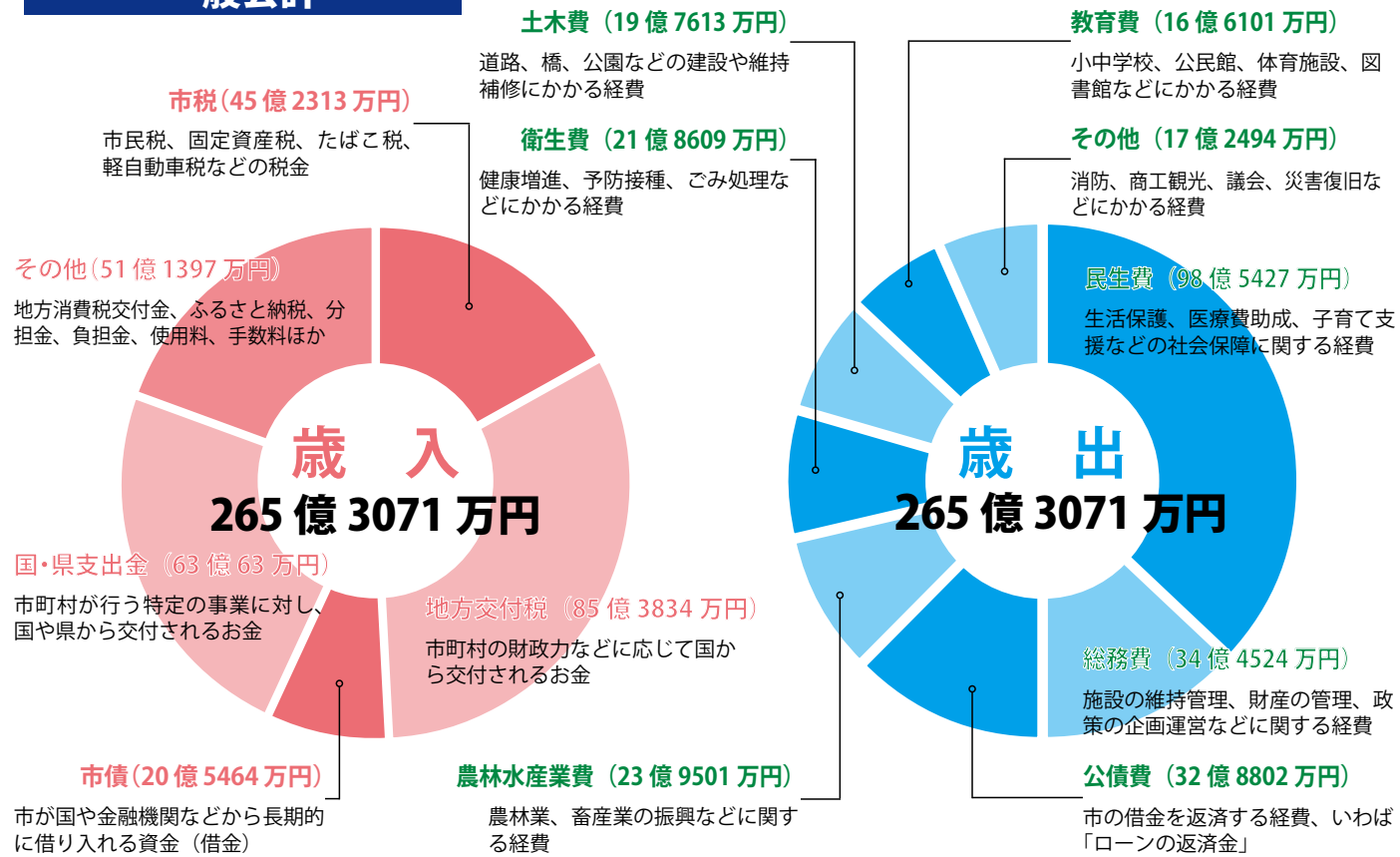


# 一般会計予算 265億3071万円

令和3年度の予算（補正第1号含む）は、前年度と比較すると7.7%減少しました。主な理由は、前年度に西諸地区畑地かんがい事業の国営事業完了に伴う負担金（約18億円）を納付したためです。

切れ目のない新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、真に必要な投資と財政健全化の両立を図り、第2次小林市総合計画に掲げる将来都市像「みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかとこ 小林市」の実現を目指します。

## 一般会計



## 各特別会計

会計名	予算額
国民健康保険事業特別会計	62億3013万円
物品購入特別会計	170万円
農業集落排水事業特別会計	2億1118万円
西諸地域介護認定審査事業特別会計	4152万円
介護保険事業特別会計	60億5011万円
後期高齢者医療事業特別会計	13億3158万円
西諸地区いじめ問題対策専門家委員会特別会計	13万円

## 予算総額

一般会計と特別会計、企業会計（水道事業・下水道事業と病院事業）の総額は463億833万円となりました。

### 463億833万円

一般会計	265億3071万円
特別会計	138億6635万円
水道事業	16億7711万円
下水道事業	10億3164万円
病院事業	32億252万円

## 総合計画の実現に向けて

地域や経済を元気にするアイデアを応援

**新** **コ** ……1300万円 (企画政策課)

コロナ禍でも実施できる創意と工夫による特色のあるソフト事業を「音楽・文化」「花」「健幸（健康）」「自由テーマ」「まちなか（商店街）」の5つのテーマで公募し、コロナ禍で落ち込んだ地域や経済を元気にする取り組みを支援します。



市民が健幸で元気に暮らせるまちへ

**コ** ……1730万円 (健康都市推進室)

市民総ぐるみで健幸のまちづくりを推進するため、市民の歩くことの習慣化に重点を置き、地域や企業などとの連携・協働による健幸都市の実現に向けた取り組みを行います。

※健幸とは「健康」と「幸せ」の両方が備わり、生きがいをもって、自分らしくいきいきと暮らしている状態のことです

## PickUP

5つのテーマに沿った、人とまちが輝くユニークな取り組みを応援します。

- 音楽文化** **音楽・文化活動で市民を笑顔に!**  
(例) 音楽のオンライン発表、少人数の屋外コンサート、フォトコンテストなど
- 花** **花を活かした活動で市民を笑顔に!**  
(例) コスモス一色事業、フラワーガーデンコンテスト、地域花づくり交流など
- 健幸(健康)** **健康づくり活動で市民を笑顔に!**  
(例) ウォーキングイベント、ウォーキングコースの設定、健康運動教室、健康講座など
- 自由** **特色ある活動で市民を笑顔に!**  
(例) オンライン郷土料理講座、高齢者向けオンライン帰省講座など
- まちなか(商店街)** **イベント等による地域活性化で市民を笑顔に!**  
(例) ストリートイベント (大人数は除く、屋外マルシェなど)



歩いた分だけ健康とポイントが貯まる!

こばやし健幸ポイント

市では、コロナ禍でもできる運動としてウォーキングを推奨しています。

## PickUP

健幸のまちづくり推進のための主な取り組みを紹介します。

### 健康づくりに取り組む企業を応援

従業員の健康づくりに取り組む市内の企業などを「こばやし健幸づくり推進企業」として認定します。

市ホームページや広告などで認定企業の取り組みをPRし、健康づくりに関する情報を提供します。

また、認定企業からの申請があった場合は、健康機器の購入や運動教室などの経費の一部を補助します。

### ポイントを貯めてモチベーションをアップ

スマートフォンや活動量計で健康づくり活動を記録し、ポイントを貯めて商品券や特産品などの景品と交換できる「健幸ポイント事業」を実施します。

記録した歩数や体重はグラフで確認でき、目標を持って楽しみながら取り組める健康づくりです。

### 正しい健康情報を伝える人材を育成

正しい健康情報や市の取り組みなどの情報を広く市民に届けるため、多くの人に口コミで健康情報を伝える「健幸アンバサダー」を養成します。